



ニュースリリース 平成22年 4月 1日

## 「料金収納管理システム」の取り扱い開始について

本ニュースは、常陽コンピューターサービス株式会社および大子町との連名でリリースするものです。

常陽銀行（頭取 鬼澤 邦夫）および常陽コンピューターサービス（社長 小松 重蔵）と大子町（町長 綿引 久男）は、公金収納事務の効率化と住民サービスの向上を目指し、使用料・手数料等（以下「各種料金」という。）の収納状況などを管理するシステム構築に向け協議を進めてまいりました。

このたび、常陽コンピューターサービスが開発しました「料金収納管理システム」を大子町が茨城県内市町村で初めて取り扱い開始しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本システム導入により、各種料金の収納状況について世帯・個人単位での一括参照が可能となり、収納管理事務の効率化が図れるとともに、納付書様式の統一化や督促・催告業務の合理化に伴う経費削減が可能になります。

### 記

#### 1. 取扱開始日

4月1日

#### 2. システムの概要

- 各種料金について、各収納に関する基本項目の登録から納付書（様式統一）の発行、口座振替請求データの作成
- 納付データの消し込み、督促・催告、還付充当の収納管理
- 各種料金の収納状況を世帯・個人単位で一括参照できる機能の提供

以上